

地場産業を活性化

若手起業家育成も

ソフト制作などインターネット、コンピューター関連の県内企業が集まり「富山ITベンチャー協会(仮称)」が今春、誕生する。相互のソフトや事業モデルについて情報交換を行い地

**県内企業
今春にも**

場産業の活性化をサポートするほか、韓国ベンチャー企業との交流会を開くなど、将来は環日本海交流を視野に入れる。学生の参加を募り、若手起業家の育成にも力を入れる方針だ。

急速に進行するIT(情報技術)革命の中で、既存産業の新分野、新規事業への進出をサポートし、地域経済の活性化を目指すそうと、ネット関連事業を展開するシーデーエル(高岡市)などが呼び掛けた。日本ソフテック(井波町)やハウロッドシステム(小杉町)など計五社が発起人企業となり二十一三十社が参加して四月に発足、数年後には百社程度を目指す。会員企業の開発ソフト、システムの展示会や講演会の開催、電子商取引の共同モデル構築などを促進する。企業、個人のほか、県内大学の情報関係研究室に呼び掛け「起業家予備軍」となる学生会員の参加を募る。

ITベンチャー協会設立へ

経済団体や県にも支援を要請、会合や事務手続きには当面、日本政策投資銀行富山事務所が協力する。

夏をめどに、韓国ベンチャー企業協会(約千三百社)との交流会を開催

する。韓国は日本よりネット普及が先行しており、国際間の新たな電子商取引システムの構築などで協力する。シーデーエルの松原吉隆社長は「ベンチャー精神を持つ学生ら若手の刺激になれ

ばうれしい。起業で雇用が広がり地域活性化にもつながる」と話す。将来は中国やロシアのベンチャー企業、団体との交流も視野に入れている。

北日本新聞

発行所

北日本新聞社

富山市安住町2番14号

郵便番号 930-0094

電話(076)445-3300(受付案内)

©北日本新聞社 2001